

令和2年度行政事業レビューシート (総務省)										
事業名	Beyond 5G研究開発促進事業			担当部局庁	国際戦略局			作成責任者		
事業開始年度	令和3年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	技術政策課			課長 柳島 智		
会計区分	一般会計									
根拠法令(具体的な条項も記載)	総務省設置法第4条第1項第69号			関係する計画、通知等	経済財政運営と改革の基本方針2020(令和2年7月17日閣議決定) 成長戦略実行計画(令和2年7月17日閣議決定) 統合イノベーション戦略2020(令和2年7月17日閣議決定) Beyond 5G推進戦略 -6Gへのロードマップ(令和2年6月30日公表)					
主要政策・施策	科学技術・イノベーション			主要経費	その他の事項経費					
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	Beyond 5Gの実現に必要なとなる先端的な要素技術を確立するため、民間企業等の研究開発を促進する研究開発プログラム(競争的資金)を実施する。									
事業概要(5行程度以内。別添可)	2030年頃の導入が見込まれる次世代の無線通信技術Beyond 5Gについて、その実現に必要なとなる先端的な要素技術を確立するため、民間企業等によるBeyond 5Gの研究開発を促進するための競争的資金プログラムを実施する。									
実施方法	補助									
予算額・執行額(単位:百万円)		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度要求				
	予算の状況	当初予算	-	-	-	-	5,000			
		補正予算	-	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-	-			
		計	0	0	0	0	5,000			
		執行額	0	0	0					
		執行率(%)	-	-	-					
		当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	-	-	-					
令和2・3年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	2年度当初予算	3年度要求	主な増減理由						
	情報通信技術研究開発推進事業費補助金	-	5,000	「新型コロナウイルス対策関連等要望額」5,000百万						
		計	-	5,000						
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標			単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標年度	目標最終年度
	外部専門家による評価において、優れた進捗が認められた課題の割合	成果実績	%	-	-	-	-	-	-	
		目標値	%	-	-	-	-	-	70	
		達成度	%	-	-	-	-	-	-	
根拠として用いた統計・データ名(出典)										

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度活動見込	3年度活動見込
	Beyond 5G実現に向け実施する研究開発課題数	活動実績	件	-	-	-	-	-
		当初見込み	件	-	-	-	-	20
単位当たりコスト	算出根拠		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度活動見込	
	予算額(X)／課題数(Y)	単位当たりコスト	円	-	-	-	-	
		計算式	円/件数	-	-	-	-	

政策評価、 新経済・財政再生計画との関係	政策	V. 情報通信 (ICT政策)							
	施策	1. 情報通信技術の研究開発・標準化の推進							
	測定指標	定量的指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標年度	目標年度
		研究開発終了時における外部専門家による評価において、当初の見込みどおりか、それを上回る成果があったと判定された課題の割合 <アウトプット指標>	実績値		-	-	-		
		目標値		-	-	-			
	取組事項	分野:							
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時年度	元年度	2年度	中間目標年度	目標最終年度
			成果実績						
			目標値						
			達成度	%					
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)		単位	計画開始時年度	元年度	2年度	中間目標年度	目標最終年度	
		成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
本事業の成果と取組事項・KPIとの関係									

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	Beyond 5Gは、5G以上に国民生活や経済活動を支える社会基盤として、あらゆる組織や産業において活用されるのみならず、社会経済システムの神経系として我が国の安全保障にも深く関与するものであり、Beyond 5Gの早期かつ円滑な導入は必須である。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	Beyond 5Gにおける将来の国際競争力を確保するためには、我が国に「強みがある技術」と我が国として「持つことが不可欠な技術」の研究開発力を重点的に強化する必要がある。戦略的に重要な当該技術に限定して、各国による本格的な開発競争が起こる前の「つぼみ」の基礎・基盤的な研究開発段階から、国費による集中的な支援を実施することが必要としている。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	Beyond 5Gの実現に向けては、民間の叡智を結集して対処していく必要があり、こうした民間の取組を効果的に加速させるためには、国による積極的な支援が不可欠であるため本事業は、必要かつ適切であり、優先度の高いものである。

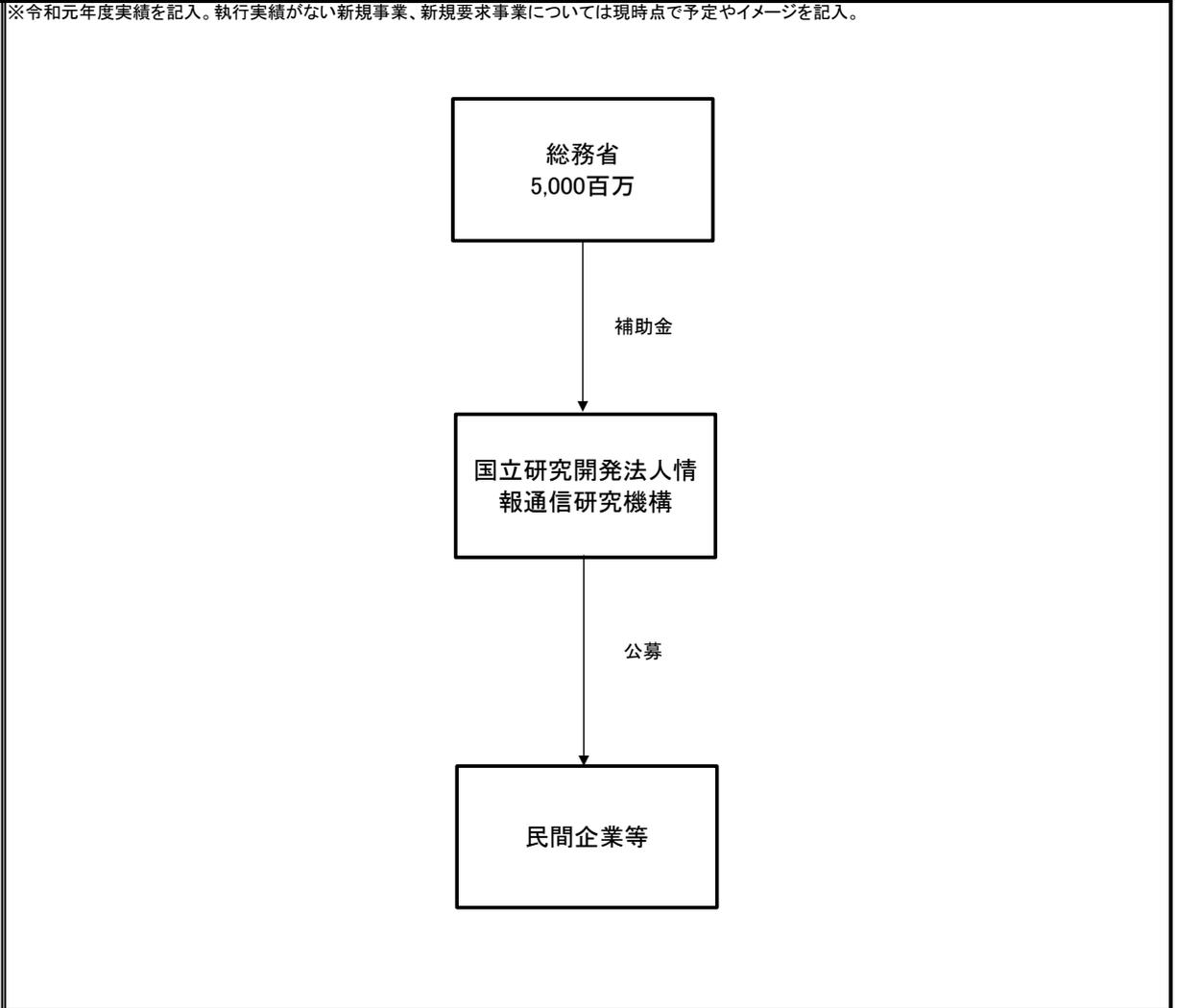
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		
	競争性のない随意契約となったものはないか。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		
	所管府省名	事業番号	事業名
点検・改善結果	点検結果		
	改善の方向性		
外部有識者の所見			
行政事業レビュー推進チームの所見			
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
備考			

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度 -	平成23年度 -	平成24年度 -	平成25年度 -
平成26年度 -	平成27年度 -	平成28年度 -	平成29年度 -
平成30年度 -			
平成31年度			

※令和元年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何をやっているかについて補足する)
 (単位: 百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.			B.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載 チェック

